

# 英語科学習指導案

令和2年11月26日(木) 第6校時(14:25~15:15) 2年2組  
T1 佐藤 真一 T2 Camilla Webber

題材名 Lesson 6 My Dream (New Crown 2)

## 【目標】

キャリアパスポート等で自分自身を見つめ直したり、友達とやり取りしたりする活動を通して、Show and Tell で将来の夢について語ることができる。

## I 課題提示型学習活動

- 小学校からの依頼により、「将来の夢」ビデオを作成し、Show and Tell で小学生に紹介するという単元の課題を知る。
- キャリアパスポートに記入した将来の夢や、前単元で自らの幼少時代についてまとめた「My Childhood」のプロフィールカードなどをつなぎ教材として、過去と現在の自分を振り返りながら、将来の夢について紹介したり書いたりする活動をする。
- 教科書本文のたまかなあらすじを読み取る活動や教科書の内容を活用しながら文章を構成する活動を行う。
- 友達とやり取りしたキーワードをマッピングに書きためて Show and Tell に生かす。

## 【単元の課題】

将来の夢を紹介するビデオを作成し、小野小学校の後輩たちに将来の夢を考える上での参考にしてもらおう。

## II 単元計画(全7時間予定)

\*単位時間の中心活動(はばプラII参照)

過程	時間	○めあて ※生徒指導3機能(決=自己決定、存=自己存在感、共=共感的人間関係)	・主な学習内容 ◎学びのつながり	*	評価の観点			
					関	表	理	言
つかむ	1	○将来就きたい職業ややってみたいことについて伝え合って、単元の見通しをもとう。 ◎小学校時代の担当の先生からの依頼ビデオを見て、小学校で行った活動について想起する。 ◎キャリアパスポートや「My Childhood」のプロフィールカードを参考にしながら、既習表現を使って自分の将来の夢を伝え合う。(試しの活動) ・本単元の課題をつかむとともに、活動の見通しをもっている。【関】(※決) ・小学校の外国語活動で行った「What do you want to be?」での活動を振り返る。 ・ALTのフィードバックを聞いたり、教科書を読んだりしながら、to不定詞の必要性や有用性に気付く。		A	○			
	2	○将来就きたい職業ややってみたいことについて伝え合おう。 ・教科書本文 Part 1 を読み、to不定詞の名詞的用法に触れたり、内容を理解したりすることができる。【理・言】 ・教科書本文 Part 1 を気持ちを込めて音読する。 ・教科書本文 Part 1 の内容を参考にしながら、将来やってみたいことやその理由などをマッピングし、Show and Tell を行う。(※共) ・互いのやり取りや教科書本文から参考となる部分をマッピングに加えたり、活動で言えたことを書きためたりする。(※決)		A B			○	○

追 究 す る	3	<p>○将来の夢のために今できることを伝え合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書本文 Part 2 を読み、to 不定詞の副詞的用法と形容詞的用法に触れたり、内容を理解したりすることができる。【理・言】</li> <li>・教科書本文 Part2 を気持ちを込めて音読する。</li> <li>・将来就きたい職業ややってみたいことについて今できることをマッピングし、Show and Tell を行う。（※共）</li> <li>・互いのやり取りや教科書本文から参考となる部分をマッピングに加えたり、活動で言えたことを書きためたりする。（※決）</li> </ul>	A B				○	○
	4	<p>○ケンの「My Dream」を参考にして、将来の夢についての Show and Tell の構成を考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書本文 USE-Read の内容を参考にして、文の構成を考えながら将来の夢について伝え合うことができる。【表】（※共）</li> <li>・教科書本文 USE-Read を、気持ちを込めて音読する。</li> <li>・教科書本文 USE-Read の内容を参考にして、Show and Tell の構成を考える。（※決）</li> </ul>	C			○		
	5	<p>○教科書本文を参考にして、将来の夢をより詳しく説明しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書本文の内容を参考にしながら、将来の夢について伝え合うことができる。【表】（※共）</li> <li>・将来の夢についてより詳しく紹介できるように、教科書の文を参考にして、活用できそうな表現をマッピングに追記し、Show and Tell を行う。</li> <li>・互いのやり取りの中で参考となる部分をマッピングに加えたり、活動で言えたことを書きためたりする。（※決）</li> </ul>	B C			○		
ま と め る	6 本 時	<p>○小学生のことを意識しながら、将来の夢についての Show and Tell をしよう。</p> <p>◎小学校からの依頼動画を再度見て、単元の目標を再確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生に伝えたいメッセージを添えながら、将来の夢についての Show and Tell をすることができる。【表】（※決）</li> <li>・マッピングをもとに、Show and Tell で、小学生に向けての自分の将来の夢を紹介し合う。（※共）</li> <li>・グループでアドバイスをしあいながら協力してリハーサルをする。</li> </ul>	B			○		
	7	<p>○前時のリハーサルを生かして本番の撮影をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・録画の内容を参考にしながら、将来の夢についてまとまりのある文章を書くことができる。【表】</li> <li>・Show and Tell を用いて、将来の夢を紹介し、録画する。</li> <li>・マッピングや話したことをもとに、将来の夢について、読み手に分かりやすく伝わるような構成を考えながら書く。</li> <li>・1時間目の試しの活動と本時の活動を比べ、できるようになったことについて振り返る。（※存）</li> </ul>	B			○		

「単位時間の中心活動（はばプラⅡ参照）」について

A：「単元の課題の解決」に向けて、新言語材料に触れる。

B：新出言語材料を活用する言語活動に取り組む。

C：教材にあるまとめの活動や、教科書の本文理解など、本文に関する言語活動に取り組む。

- 1 ねらい 小学生へのメッセージを加えながら、自分の将来の夢についての Show and Tell をすることができる。
- 2 展開

学 習 活 動 ☆：生徒の意識	時 間	指導上の留意点及び支援のポイント	
		JTE	ALT
<b>1 あいさつ・帯活動</b> ・スモール・トーク“What’s your dream?” ☆単元の初めのころよりも詳しく説明できるようになったな。	5分	○机間支援をしながら生徒の様子を観察する。 ○やり取りにつまずいているペアを支援する。	○表現につまずいている生徒を支援する。
<b>2 単元の課題を確認する</b> ・小学校の先生からの依頼ビデオを見て、単元の課題を最終確認する。 ☆来年度に入ってくる小学生に立派な自分を見せたいな。 ☆小学生に何かメッセージを伝えたいな。	5分	○来年度は3年生として、今の小学校6年生を迎えることに触れる。 ◎前時までの内容でよいかどうかを確認させる。	○前時よりもよりよい Show and Tell にしようと呼びかける。
<b>3 本時のめあてをつかむ</b> ・前時までのマッピングや Show and Tell を振り返り、良い点や課題点に気づく。 ・よりよい Show and Tell にするにはどのようなメッセージを盛り込むべきか考える。 ・本時の流れについて理解する。 ☆どんなメッセージを伝えたら小学生にとってよいだろうか。	5分	◎◇前時までに考えた紹介に、メッセージが入っているかを確認させる。 ※小学生が前向きになれるメッセージをどう加えたらよいかなどについて自分の考えをもたせる。(決)	○Show and Tell にポジティブなメッセージを挿入することで、相手を意識したよりよいものになることなどをアドバイスする。
<b>【本時のめあて】</b> 小学生のことを意識しながら、将来の夢についての Show and Tell をしよう。			
<b>4 本時の活動を行う。</b> ・JTE と ALT のグループに分かれる。 ・3名のグループになり、JET のグループはスピーチ形式で Show and Tell を行い、ALT のグループはやり取りの Show and Tell をする。 ☆今までの学習を生かして、一生懸命やろう。 (1) 小学生に向けたメッセージを意識しながら Show and Tell で将来の夢を語る。 ☆前回よりもよいビデオにしよう。こんなメッセージを言ってみよう。 (2) チェックシートを活用しながら改善点について話し合う。 ☆自信をもって言えたな。 ☆～さんの表現は参考になるな。 ☆小学校の先生や後輩に伝わるといいな。	30分	○担当の生徒（3人組のグループ）が小学生に伝えたいことを聞き出しながら助言する。 ○◇前時までのマッピングに加えられたメッセージを見とり、改善した生徒を中間評価として全体で紹介し、共有する。 ※中間評価を参考にして、自分の発表に生かさせる。(決) ※メッセージを加えられたことや意欲的に取り組む姿をほめて達成感を味わわせる。(存)	○担当の生徒（3人組のグループ）とやり取りをしながらほめたり助言したりする。 ○やり取りにより、よりよい紹介となっている生徒を中間評価として全体で紹介し、共有する。 ※Show and Tell を見ながら、よい表現を具体的にほめる。(存)
<b>【表現の能力】</b> 小学生に伝えたいメッセージを添えながら、将来の夢についての Show and Tell をすることができる。(観察)			

<p><b>5 本時の振り返りをする</b></p> <p>・生徒が振り返りを発表する。</p> <p>☆相手へのメッセージを一言加えるだけでよりよい Show and Tell になったな。 (内容面)</p> <p>☆言いたいことを伝える表現がわかった。 (言語面)</p>	<p>5分</p>	<p>○単元のはじめの試しの活動と本時の活動を比べて振り返らせ、できることが増えたことを実感させる。</p> <p>※先輩として素晴らしいメッセージが残せたことやよりよい Show and Tell のために学び合いが有効であったことをほめる。(共)</p>	<p>○やり取りを通して内容が豊かになったことや前時よりも一人一人の将来の夢への思いが伝わったことについて賞賛の言葉を述べる。</p>
---	-----------	---	---